



八王子市は、東京都心から西へ約40キロ、新宿から電車で約40分の距離に位置している。21の大学を抱えた学園都市でもある。東京特殊車体㈱はその八王子市にあり、浅川沿いの広い敷地に工場がある。

## 製品

御社で製作している主力製品についてお聞かせ下さい  
小島社長 採血車、レントゲン車などの医療関係車両が主力製品です。医療器材は時代とともにデジタルに切り替わってきており、それに合わせて車両設備の内容も大きく変化しています。新しい技術を常に取り入れながら、お客様のニーズに合った車両を作っています。

多種多様な大型車両がありますが、これまでの車両で特に特徴的なものはありますか？  
平成13年にオリエンタルランド送迎用バスを受注しました。これはデザイナーの要求が厳しく、工期も短いものでした。工法的には一部FRPを採用し、板金と融合させて作り上げました。従業員の努力の賜です。

平成15年には、日本たばこ産業㈱から依頼され、「スモーカー」というタバコを吸うための車両を作らせていただきました。デザイナーコンセプトが「自由とメジャーを重んじていた60年代のフランス風」ということで、「コンセプト」に添ってデザイナーとともに作り上げました。

社長のモットー、今後の抱負などについてお聞かせ下さい  
「安全で人にやさしく、使いやすい車づくり」がモットーです。当社の持つ技術、技能は幸いにもユーザーから高い評価をいただいています。今後もこの技術力を次世代に確実に継承し、多様化するニーズや新たな車両づくりへ繋げていきたいですね。

また、品質面もしっかりしたものにしたいと、技術の開発と蓄積で信頼される製品を提供しよう、といった品質方針も掲げています。「山椒は小粒でもひりりと辛い」のように、小さいながらも存在感のある会社にしたいと思っています。

# Net Work

会員会社紹介 Vol.43

「高い技術・技能で  
小さくとも存在感のある会社」

## 東京特殊車体 株式会社

取材 / (社)日本自動車車体工業会 事務局次長 橋本 茂



取締役社長

小島 保門

### DATA

本社・工場 東京都八王子市長沼町1304番地1  
TEL 0426-44-3517  
FAX 0426-44-3493  
資本金 4,000万円  
従業員 118名  
事業所規模 敷地 11,813㎡ 工場 5,079㎡  
車工会加盟 昭和43年(特種部会)

## 特徴・沿革

大型車両製作を得意とし、シャシーから組み立て、バスボデーに仕上げるなど、各種車両に対応している東京特殊車体株式会社。その種類は、医療関連車両をはじめ、宣伝カー、オリジナルバスなど多方面に渡る。

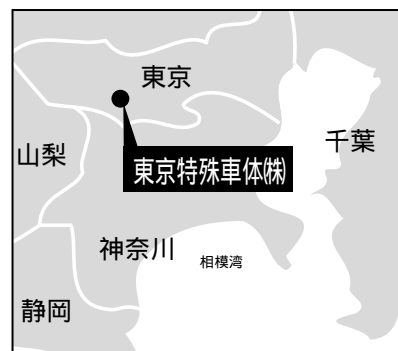
昭和42年、設立当初は板金、塗装などの高い技術を持った職人が多く働いており、ろくに図面などない中で、親方の感と技術のみで仕上がりを見極め、車両を作り上げていた。昭和43年、現在の北野工場に移ってから大型の車体も手がけるようになり、主力として長年にわたり力を入れていく。

昭和45年に受注した「はとバス」は、まさにその発端となるものであった。従来の観光バスとは大きく違い、フロントガラスが大きく、屋根の両端に2本のロケット状の冷房ダクトが着いている外国人向けの観光バスであった。シートの幅前後のビッチなども外国人の体格に合わせた作りで、全てが初めての体験となった。

その30年後に、記念観光バスを受注している。「はとまる君」の愛称で親しまれたはとバスは、流線型のガラス張りという難しい表現を見事に実現。平成13年3月にグッドデザイン賞を受賞している。現在でも人気の高い観光バスだ。

最近では、ボンネットバスなど地域色の高いバスの製作・架装も行っている。地域ごとに特色のあるボンネットバスは、それぞれが外装、内装とも個性的であり、その複雑な架装となる。しかしそこには設立から受け継がれた高い技術力が今の物づくりを支えている。難しい形をどうしたらきれいに、お客様の望む形として表現できるのか、そういった思いが随所に見える。

新しい技術、材料もどんどん取り入れ、どんな架装でもひるむことなく作り上げていく、チャレンジ精神旺盛な会社である。



## 人

御社の従業員の特徴は

どんな車両でも製作してしまう技術・技術力を持っていることでしょうか。さまざまな工法に取り組み、作り上げるというチャレンジ精神が旺盛だと思えます。

例えば図面に表せない感覚的なものでも、考えながら作り上げる豊富な経験と技能を持っていることも特徴だと思えます。

長年培われてきた技能、技術の伝承は今後どのようにつなげていかれますか

当社は、今まで多種多様な車両を手がけており、蓄積された図面を標準・共有化しています。合わせてノウハウのエッセンス・集大成ともいえるべき作業規定を作成し、各工程上前に図面説明及び作業規定・留意点をペタランから若手に具体的に説明・確認させることで技能・技術の伝承に役立てるようにしています。実務でも常に新しい技術、工法などの知識を積極的に習得してもらおうと、各自に課題を持ってもらい、業務に組み込んで習得するようになっています。

若手社員の教育、啓蒙の一環として、全員がアイデアを出し合い、多目的社有車を作成していた



### 競走馬輸送車

医療用検診車と並んで近年、力を入れている競走馬輸送車。トレーニングセンターなどから競馬場へ馬を運ぶ特種車両。クーラーなども取り付けられ、快適な状態で馬を運ぶことができる



### イベントカー

「スモーカー」の呼び名のとおり、タバコを吸うために作られた車両



### 「はとバス」初代ともいえる観光バスを製作

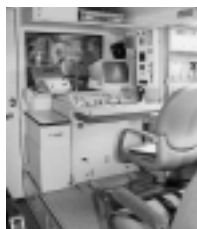


昭和45年頃に製作した「はとバス」(上)。当時としては斬新なデザインであった。右が現在のもの。グッドデザイン賞を受賞している



### 大型検診車

トラックシャシを使用した大型検診車。室内も全て手がけている



設計関係のフロア。CAD等を使ってお客様のニーズにあった車両を設計している

